

川口市人口推計 推計結果

三菱UFJリサーチ&コンサルティング

世界が進むチカラになる。



推計パターン

- ・ 次期計画の人口推計は以下の条件で実施した。

	推計手法	区分	自然増減	社会増減	0-4歳の推計
			生残率の設定	純移動率の設定	
日本人推計	コーホート要因法	各年・各歳	社人研「日本の地域別将来推計人口(令和5(2023)年推計)」における将来の生残率	住民基本台帳人口に基づき2018→2019、2019→2020、2023→2024の純移動率を推定し、その平均値を採用	子ども女性比(15-49歳の女性)により算出(2019年、2020年、2024年の平均)
外国人推計	コーホート変化率法	5年・5歳階級	変化率:2019→2024年		
総数	日本人推計と外国人推計の和	5年・5歳階級 ※2024年の外国人の年齢構成に従って各年・各歳推計も実施	—	—	—

※後期基本計画の人口推計の手法 (日本人と外国人を分けた推計は行っていない)

	推計手法	区分	自然増減	社会増減	0-4歳の推計
			生残率の設定	純移動率の設定	
総数	コーホート要因法	5年・5歳階級	社人研「日本の将来推計人口(平成29年推計)」における将来の生残率を補正 ※全国推計のデータを補正	社人研「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」における将来の川口市の純移動率	全国の合計特殊出生率を補正した数値を使って算出

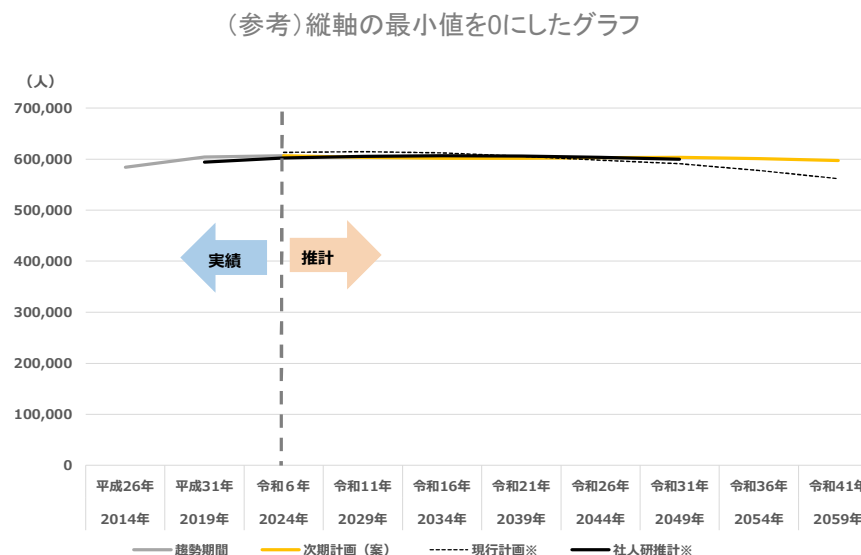
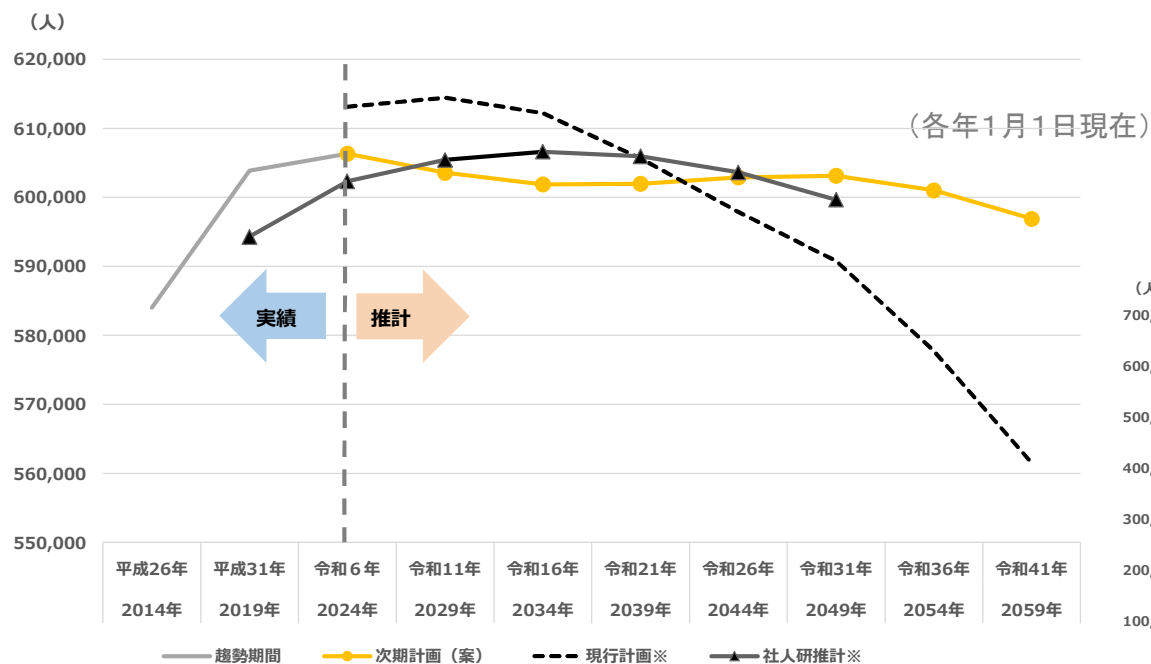
(参考) 推計手法について

推計手法	概要
コーホート要因法	- 性別・年齢区分ごとに人口の変化を自然増減(出生・死亡)と社会増減(転入・転出)に要素分けし、それぞれの要素ごとに人口増減を推計する手法。 - 要素ごとに推計を行う分精緻な推計(×正確な推計)となるが、その分推計に必要なデータが多い。 - 最低限、過去の男女・年齢別の人口データと年齢ごとの生残率が必要。 ※その他、純移動率や子ども女性比も必要となるが、生残率さえあれば、計算により推計は可能。 ※現在、生残率は日本人のデータしか存在しない。 (参考) 生残率: ●歳から●+1歳となった際に、何人が生存しているかという統計データ 純移動率: ●歳から●+1歳となった際に、何人の人口流入・流出が起こるかという統計データ 子ども女性比: ある年における0歳児と15-49歳の女性の人数比率
コーホート変化率法	- 性別・年齢区分ごとに人口の変化の要素分けを行わず、単純に過去の増減割合を将来に適用して推計する手法。 - 要素分解を行わないためコーホート要因法に比べて大括りな推計(×不正確な推計)となるが、その分推計に必要なデータが少ない。 - 過去の性別・年齢別の人口データがあれば、推計可能。

※理解促進を意図した記述としており、学術的に厳密に正確な記述ではない点にご留意ください。

推計結果－総数(日本人+外国人)

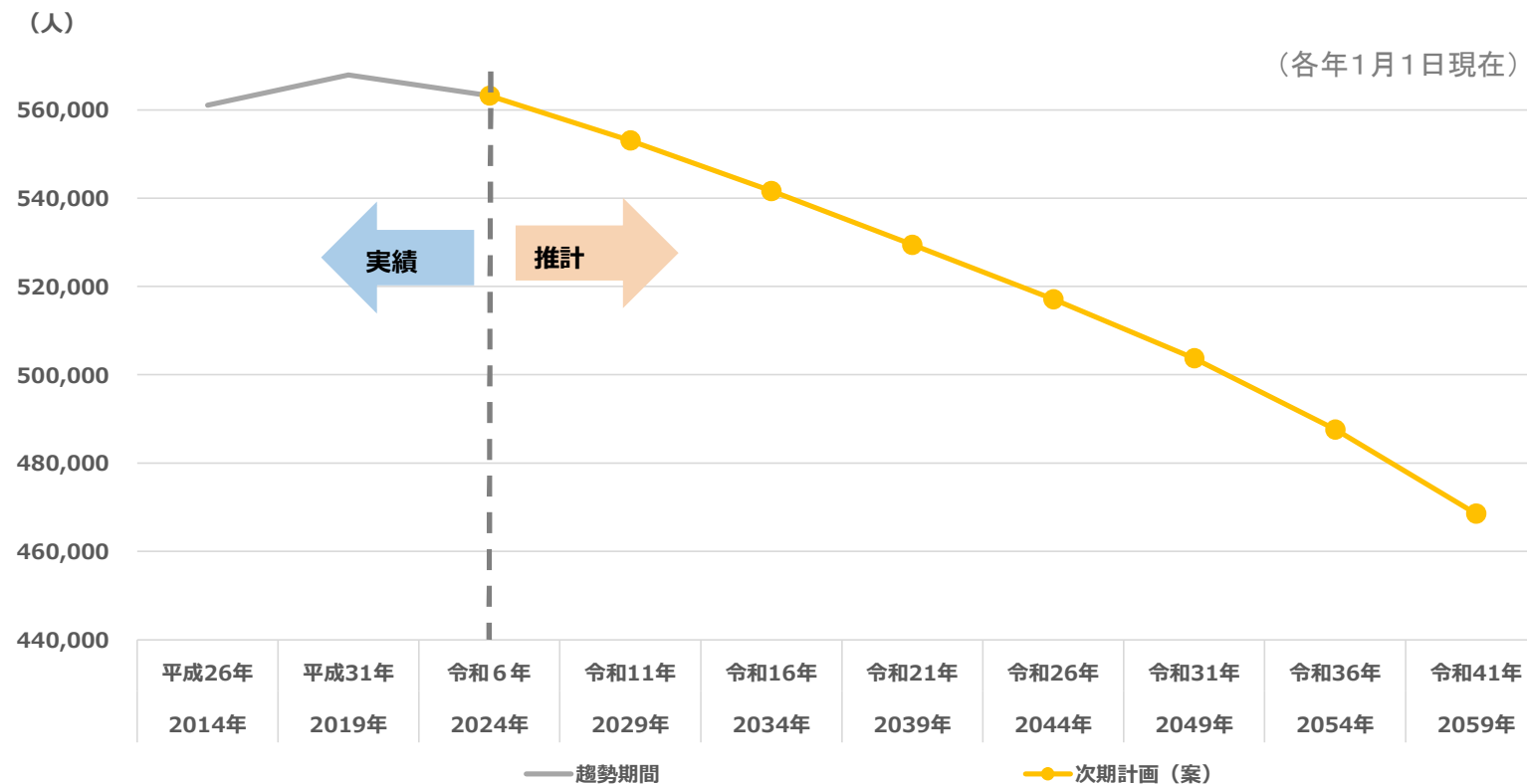
- ・ 2024年をピークに減少傾向をたどり、2039年～2049年にかけて微増するが、その後再び減少に転じる。
- ・ 2044年以降は過年度推計よりも人口減少に歯止めがかかっている。
- ・ 2059年に人口60万人を下回る。



	平成26年 2014年	平成31年 2019年	令和6年 2024年	令和11年 2029年	令和16年 2034年	令和21年 2039年	令和26年 2044年	令和31年 2049年	令和36年 2054年	令和41年 2059年
次期計画(案)	583,989	603,838	606,315	603,584	601,870	601,964	602,889	603,111	601,018	596,899
現行計画※	-	-	613,114	614,438	612,186	605,641	597,854	590,766	577,730	561,529
社人研推計※	-	594,274	602,313	605,418	606,590	605,949	603,610	599,667	-	-

推計結果－総数(日本人)

- 2019年をピークに減少が続く。
- 2054年には日本人が50万人を下回る。

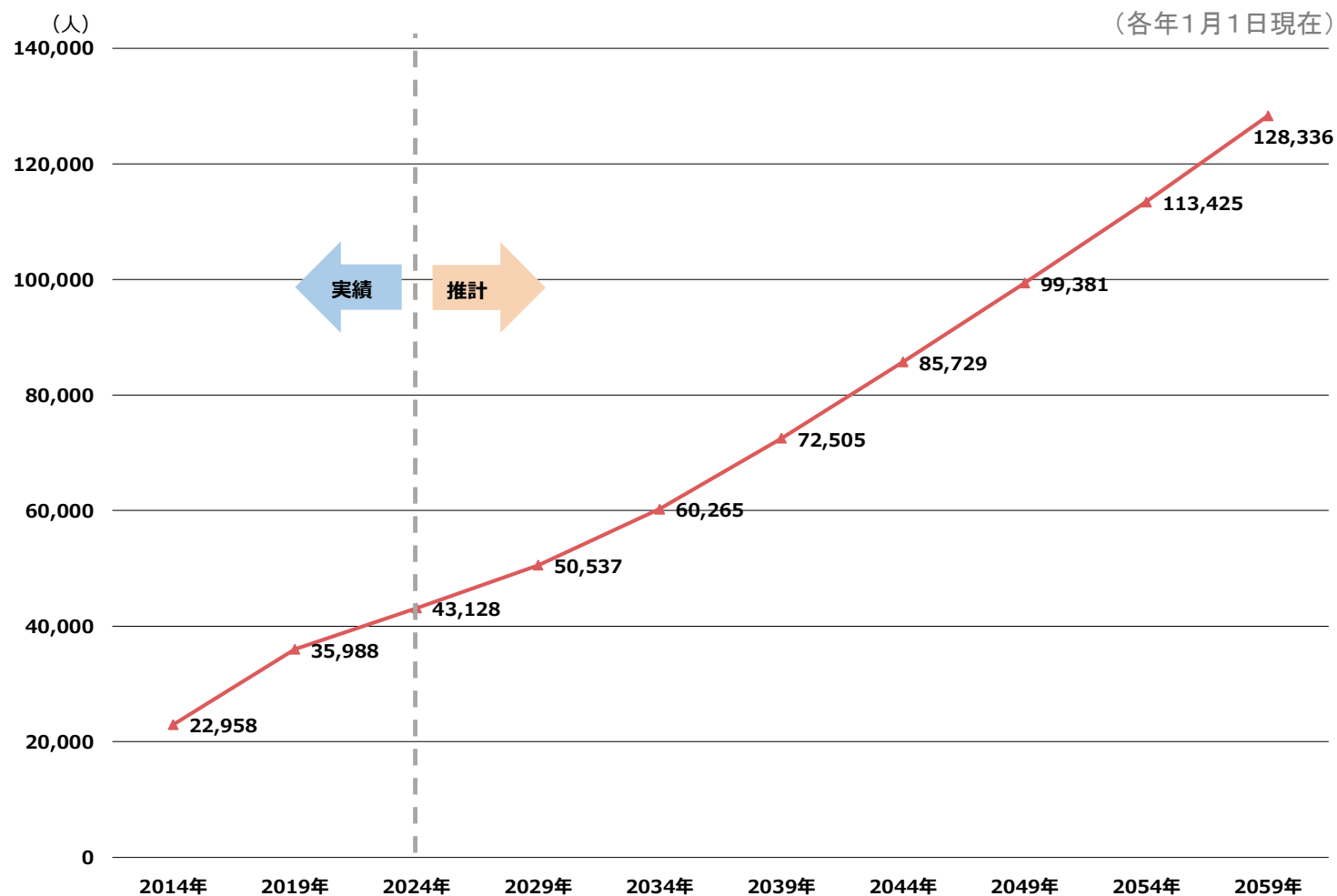


	平成26年 2014年	平成31年 2019年	令和6年 2024年	令和11年 2029年	令和16年 2034年	令和21年 2039年	令和26年 2044年	令和31年 2049年	令和36年 2054年	令和41年 2059年
次期計画(案)	561,031	567,850	563,187	553,047	541,605	529,459	517,161	503,730	487,593	468,563

注: 現行計画の推計は、日本人・外国人別に推計を行っていないため、日本人のみの人口推計は存在しない。

推計結果－総数(外国人)

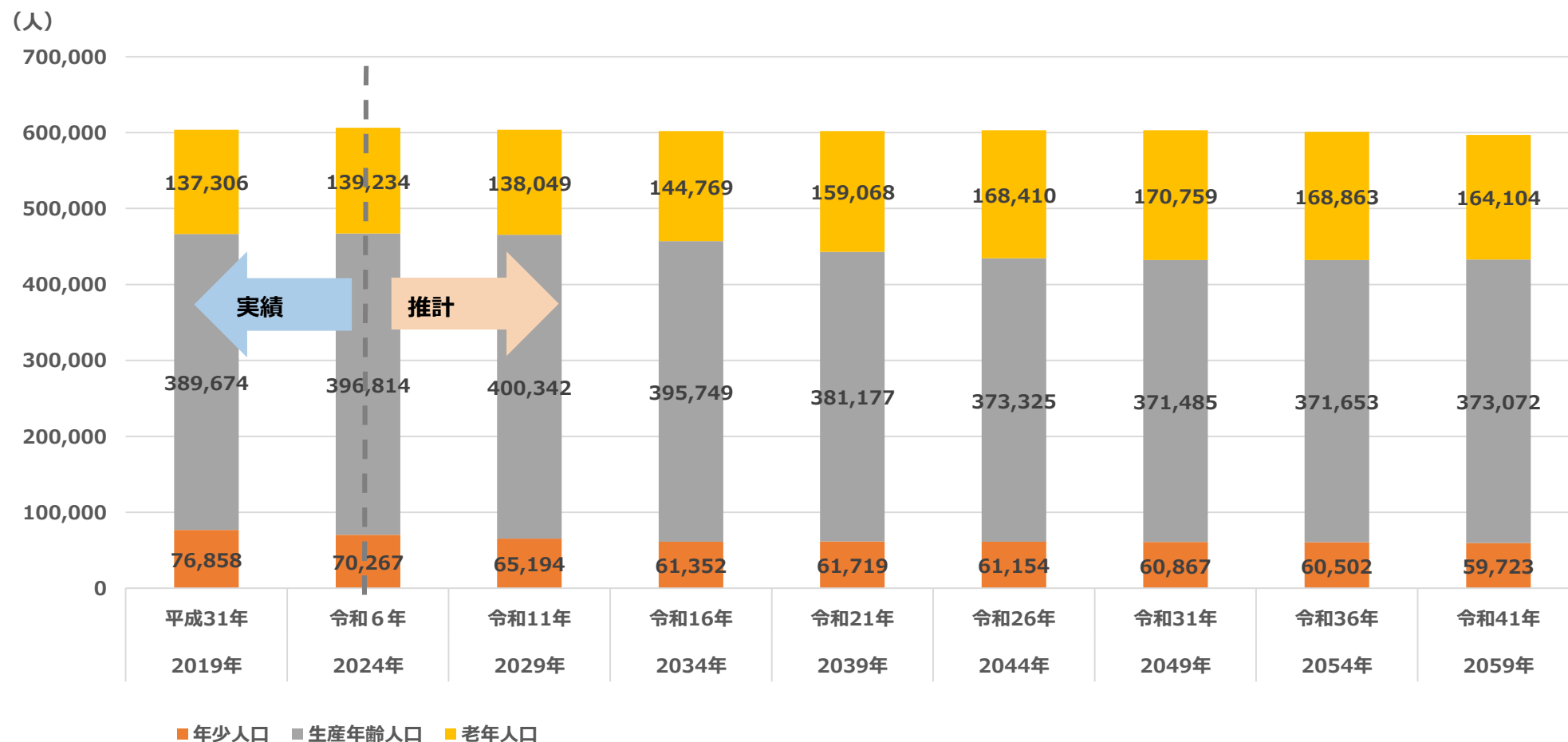
- 増加が続き、2054年には10万人を突破する。



注：現行計画の推計は、日本人・外国人別に推計を行っていないため、外国人のみの人口推計は存在しない。

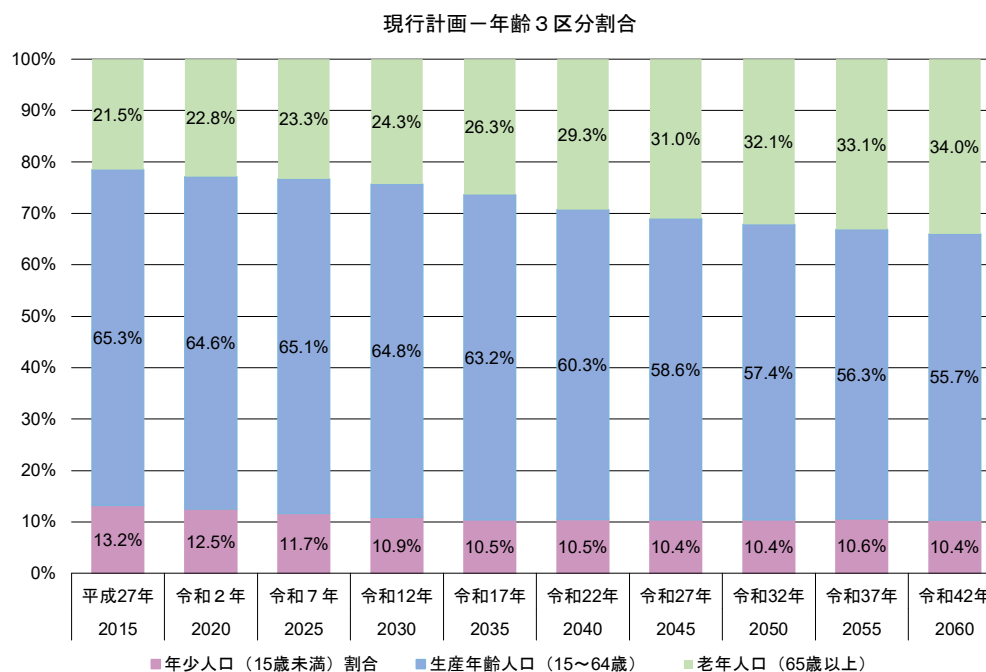
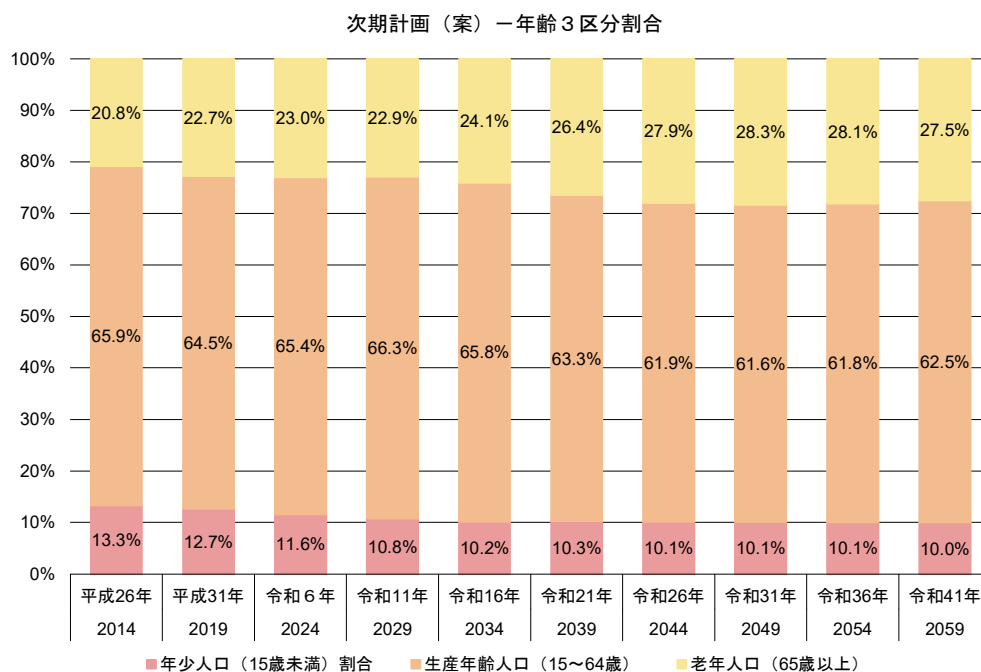
年齢3区分別推計結果(日本人+外国人)

- 次期計画(案)の推計における年齢3区分別人口は、年少人口・生産年齢人口で減少傾向、老年人口で増加傾向となる。



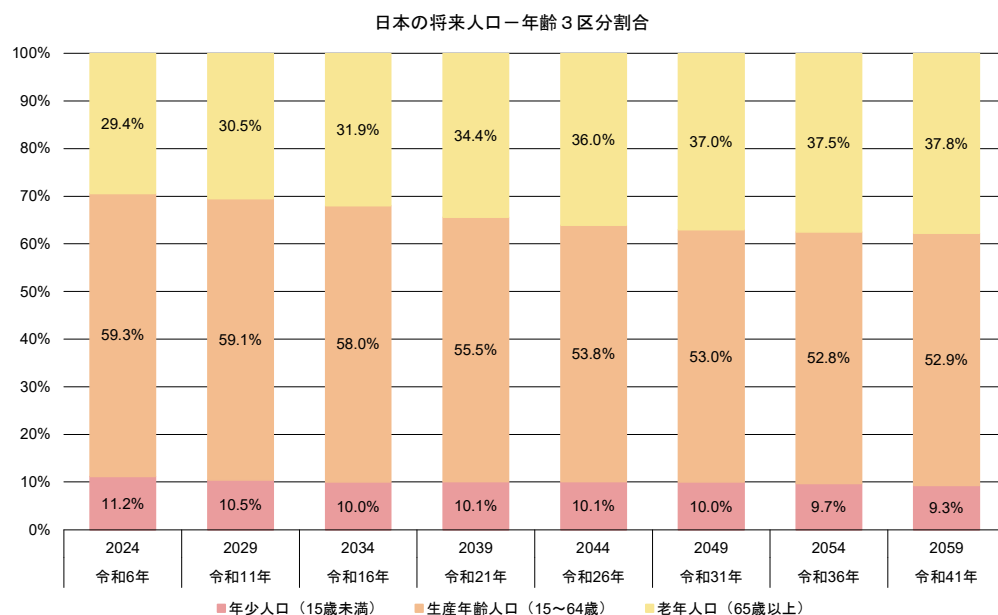
年齢3区分別推計結果（日本人+外国人、割合）

- 年齢3区分の割合について、次期計画（案）推計は、年少人口割合はほぼ横ばい、生産年齢人口割合が3～4%程度減少、老年人口割合が4%程度増加となる。
- 現行計画よりも生産年齢人口割合の減少・老年人口割合の増加が緩和されている。

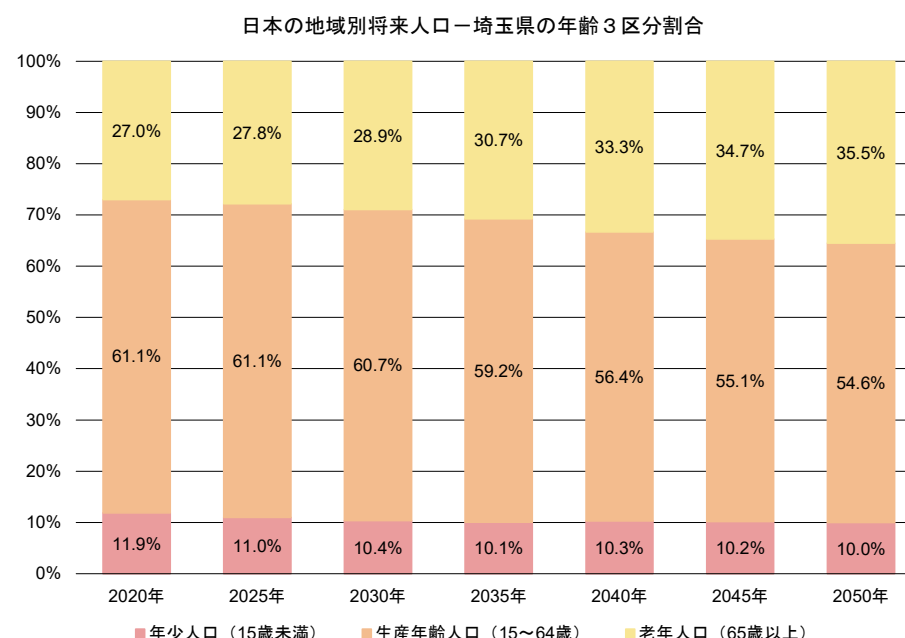


【参考】 年齢3区分別人口割合（日本全体、埼玉県）

- 年齢3区分の割合について、次期計画の推計は、社人研の日本全体の人口推計、埼玉県の人口推計における年齢3区分の割合よりも、生産年齢人口の割合が大きく、老年人口の割合が小さくなっている。



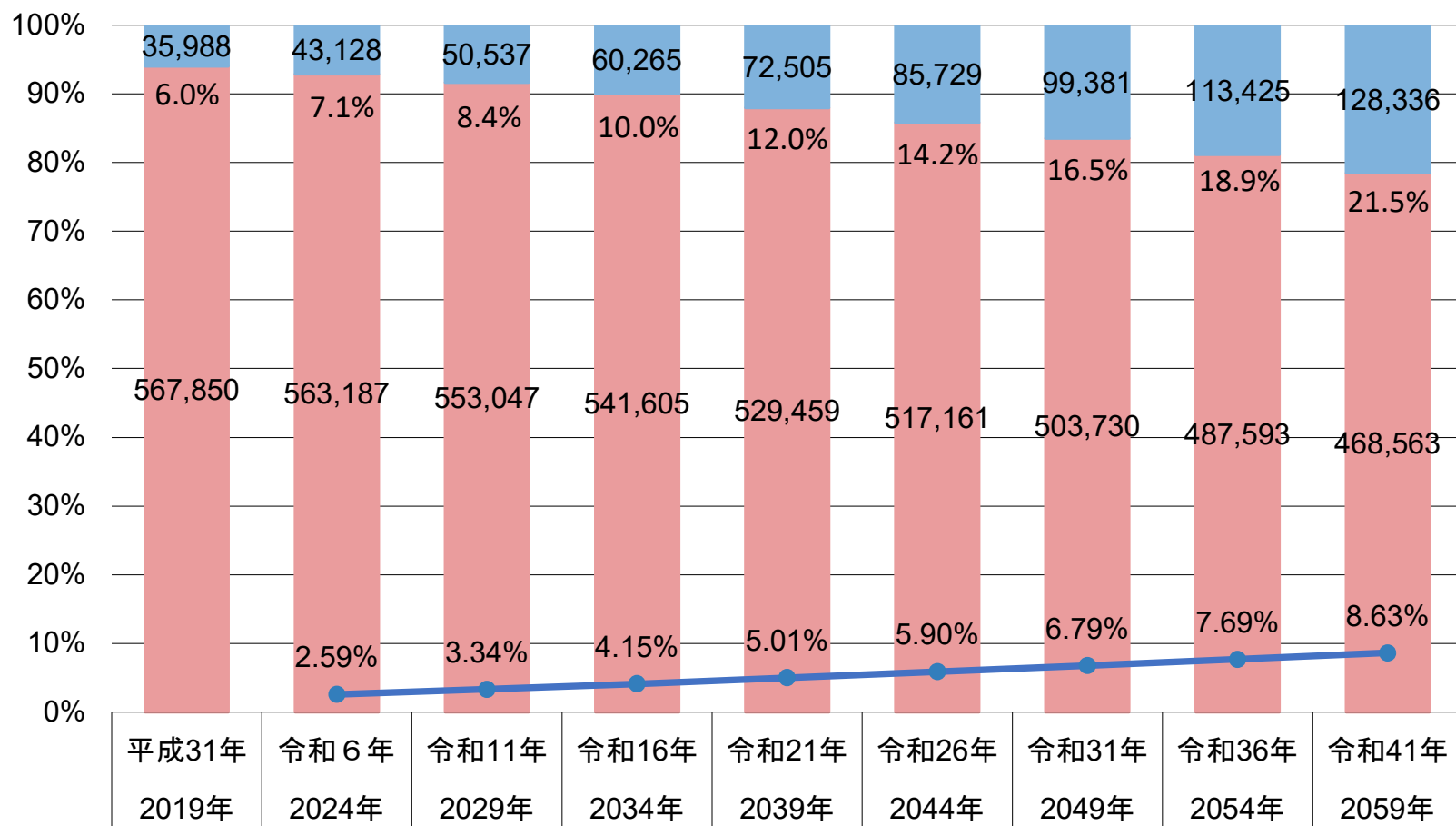
（出所）国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和5年推計）」表1-1を基にMURC作成
※総数（日本人＋外国人）の割合を示す。



（出所）国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来人口」を基にMURC作成
※地域別将来人口は、日本人・外国人別の推計は行っていない。

【参考】 外国人比率(日本人+外国人)

- 次期計画（案）の推計における外国人比率は、2034年に10%、2059年に20%を超える。
（参考：現行計画の当初策定時点（H26）では、外国人は22,958人/3.9%であり、10年間で2倍となっている。）
- 日本全体における外国人割合と比べても川口市の外国人割合は高い。



■ 日本人人口 ■ 外国人人口 ● 日本全体における外国人割合

（出所）日本全体における外国人割合については、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和5年推計）」を基にMURC作成